



たかおか

2023
April

NO.780

4



サポートエリア

高岡の未来をつくる、つなげる TASU 高岡まちなかスタートアップ支援施設オープン



シェアラウンジ

通常議員総会において 令和5年度 事業計画・予算が決まる

3月22日(水)、当所通常議員総会において令和5年度事業計画・予算が承認されました。
5月には新型コロナウイルスの感染症法上の分類が、季節性インフルエンザと同等の「5類」に移行されることから、今後はコロナと共生し経済活動の正常化に向けた経営者支援、地域づくりに取り組みます。
特に、インボイス制度の導入やコロナ禍での借入への資金繰り相談、そしてデジタル化やカーボンニュートラルに取り組む事業所や海外への販路開拓等、挑戦する事業所への伴走型経営支援を強化し、また、地域の公共交通ネットワークの意見をまとめるとともに北陸新幹線敦賀駅開業を見据えた事業にも取り組んでいきます。

高岡商工会議所 地域振興プラン改訂版 3つの戦略

- 戦略1 交流人口の拡大による地域経済の活性化
- 戦略2 DX推進を柱とする企業競争力の強化
- 戦略3 働きやすい魅力ある都市づくりの推進

事業計画

注 ◎重点施策 ◆2024までの優先施策 N新規事業

戦略1 交流人口の拡大による地域経済の活性化

推進方法1-1

「ニューノーマルにおける新しい観光スタイルの推進」

1.広域観光の推進

(1)飛越能の玄関として、新高岡駅を拠点とする広域観光連携の推進

ア 新幹線まちづくり推進市民会議による利用促進事業

イ 北陸新幹線沿線都市物産展事業

ウ たかおかいっぴんセレクション事業

(2)県西部地域の歴史文化ストーリーの活用と発信

N たかおか検定(仮称)ワーキングチームの設置

◆(3)地元の人が地元の魅力を再発見するマイクロツーリズムを提案

ア 高岡の文化遺産めぐり

イ 県西部観光モデルコースの提案・発信

◎2.デジタル化に対応した観光対策の推進

(1)観光需要回復を見据え、インバウンド向け情報発信の充実

◆(2)県西部6市の観光情報を発信する共通プラットフォームの再構築

3.プロモーション活動の強化

◆(1)大都市圏等旅行会社へのツアー商品(個人旅行向け)の提案

ア 首都圏等出向宣伝事業

イ 旅行会社招聘事業

(2)県西部DMOとの連携

推進方法1-2

「藤子・F・不二雄先生のふるさとづくり」

1.個性あるキラコンテンツづくりと市民意識の醸成

(1)藤子・F・不二雄先生のふるさとづくり

(2)藤子F・不二雄先生ゆかりの地の発信

(3)ドラえもんトラム、モニュメント、電停のラッピング等の継続

推進方法1-3

「歴史文化遺産の活用・産業体験観光による産業の活性化」

◎1.歴史文化遺産の活用と地域産業の活性化

N(1)国宝勝興寺周辺の活性化

ア 周辺整備に向けた協力・支援

イ 勝興寺周辺活性化事業

◆(2)歴史文化資源のモデルコース化

N・富山県西部地域の産業偉人(出身者・ゆかりのある人物)の調査・活用事業



- (3)高岡古城公園の魅力向上策の推進
- (4)山町筋、金屋町、吉久(国重要伝統的建造物群保存地区)における出店支援等、観光まちづくりの推進

2.産業体験観光の推進

- (1)産業観光参画企業の拡大
- (2)旅行会社等と連携した旅行商品化の推進
 - ア 旅行会社招聘事業
 - イ 高岡食のブランド化事業

推進方法1-4「MICE招聘機能の充実」

1.MICE招聘活動の支援

N 2.高岡テクノドーム別館のオープンに向けた誘致活動

- ◆・テクノドーム別館の2024年度中完成に向けた展示、コンベンション、イベント等の誘致

戦略2「DX推進を柱とする企業競争力の強化」

推進方法2-1「DX推進による経営力の強化」

◎ 1.企業特性に応じたDX推進サポートの強化

- ◆(1)デジタル化推進による生産性向上支援
- ◆(2)小規模事業者のDX支援を強化
 - ア デジタル化・省エネ推進支援事業
 - イ 記帳指導対策事業
- (3)各種支援策情報の発信、支援機関との連携サポート



推進方法2-2

「伴走型支援による小規模事業者の経営強化」

◎ 1.創業・事業承継支援の強化

- (1)支援ネットワークを活用し、創業・事業承継に関して事業計画策定等の実施
 - ア 創業者支援事業
 - イ 高岡スタートアップ創業塾開催事業
 - ウ 事業承継相談支援事業

2.ニューノーマルに対応したビジネスモデルの変革に挑戦する企業への支援強化

- (1)業態転換等に取り組む事業者の新たな需要開拓への支援

- ア 経営発達支援事業
(伴走型小規模事業者支援推進事業)

N イ 販路開拓支援事業※国補助事業(一部)

3.新事業展開・業務改善に取り組む企業への支援強化

- (1)中小企業施策(経営革新等)
 - ア 制度改正等の課題解決環境整備事業
 - イ 新型コロナウイルス感染症対応等事業環境変化に対応するための経営相談体制強化事業

- ◆(2)BCP(事業継続力強化計画等)の策定支援

推進方法2-3

「クリエイター連携による工芸都市高岡の産地継承」

1.クリエイターとの連携による情報共有・経営支援

- (1)クリエイターと地元事業者との共同商品開発における販路開拓を図る等クリエイターとの連携による支援を継続実施
- (2)事業者の海外進出、新分野開拓等情報共有及び伴走型の経営支援

2.クラフトイベントの実施(支援)

- (1)クラフトコンペ事業の継続開催
- (2)市内クラフトイベントの連携開催



3.伝統技術の継承・発信

- (1)文化財の再現、修復事業の海外販路開拓(行政機関等との連携)

推進方法2-4

「呉西圏域連携による次世代産業の創出」

1.関連機関との連携による新産業の創出

- (1)次世代産業等に関し、技術面や市場予測等の情報提供、地域企業の取組みを促進

2.企業誘致・支援施設充実の推進

- (1)地元企業の技術高度化に資する企業誘致
・空き工場等有効活用事業

- ◆(2)支援施設充実等の推進

戦略3「働きやすい魅力ある都市づくりの推進」

推進方法3-1

「働き方改革の推進及び健康経営の普及」

◎ 1.新しい働き方の導入支援の強化

- ◆(1)テレワークやリモートワーク等、新しい働き方の実現に対し企業支援を強化
- (2)経営者・従業員の意識改革の推進

2.健康経営宣言の普及

- (1)情報発信、セミナー開催等による健康経営の普及

3.移住・UIJターンの強化

- (1)「たかおか企業人材確保推進事業」の実施

- ◆(2)広域にわたる幅広い産業への就業機会と新居住空間の提供(行政機関等と連携)

推進方法3-2「都市交通機能の充実」

1.都市交通機能の利便性向上

- ◆(1)城端線・氷見線の次世代交通システム・直通化及び万葉線との一体化の研究・推進

- (2)万葉線やあいの風とやま鉄道、バス等を含む県内総合交通システムの調査・検討

2.新高岡駅 飛躍的増加を目指す利用促進活動の実施

- (1)北陸新幹線敦賀延伸に向け、新高岡駅の利用促

進活動の実施や利便性向上とかがやき停車の働きかけ

ア 新幹線まちづくり推進高岡市民会議による利用促進事業の実施

イ 国・県・市及びJRへの要望活動の継続的实施

推進方法3-3

「市街地再構築及び新高岡駅周辺のまちづくりの推進」

◎ 1. 中心市街地と新駅を核とする都市の魅力向上の推進

(1) ローカル5Gやスポーツ施設等先進的なハード・技術投資を活用する魅力向上

ア まちづくり事業への支援

イ eスポーツ拠点運営支援事業

ウ たかおかまちのゼミナール事業



◆(2) 中心市街地、ミニ再開発・空き店舗活用等の支援

N ア 空き店舗調査事業のフォロー

空き店舗調査の結果を受け、空き家も含めその活用を末広開発(株)とともに促進する。

イ まちなか賑わい創出事業

◆(3) 高岡駅～末広町・御旅屋通り～古城公園を結ぶウォーキングエリアの形成

(4) 新高岡駅周辺 広域通勤居住圏・広域観光拠点の構築

2. リノベーションまちづくりの推進

(1) リノベーション物件の情報収集、起業相談等による支援

推進方法3-4 「商工会議所の体制強化」

◎ 1. 商工会議所及び会員企業におけるパートナーシップ構築宣言及びSDGsの取組み推進



N◆(1) パートナーシップ構築宣言の推進と実行

◆(2) 高岡商工会議所SDGsの計画的実施

◆(3) 会員企業向けセミナー等の開催、事業計画策定等のSDGs取組み支援

(4) 事務局のデジタル化の推進

2. 商工会議所事業の強化

(1) 青年部、創志会、女性会等との連携強化

N ・ 伝統産業青年会50周年事業への支援

(2) 会員大会、会員企業PR事業、集合健康診断事業等の会員サービス事業の充実

ア 雨晴海岸から望む立山連峰カレンダー事業

イ 会員大会の充実



ウ 集合健康診断事業

エ 新春高岡経済懇談会

オ 会頭杯会員親睦ゴルフ大会

カ 会員企業PRコーナー

キ 労働保険事務組合の運営 他

(3) 調査・広報活動

ア 会報の発行

イ 経営支援情報メールマガジンの発信

ウ LINE情報配信サービス

エ 高岡ケーブルテレビ・ラジオたかおかのニュース番組の放送

オ LOBO調査・高岡地域経済動向調査

N カ プレゼンス強化事業 他

(4) 事務局職員の資質向上(研修・資格取得の奨励)

(5) 財政基盤の強化

◆その他の事業

1. 交流連携事業

ア 長野ほか北陸新幹線沿線商工会議所(福井県含)との交流

イ 一宮及び犬山商工会議所との交流

ウ 能登地区、飛騨地区商工会議所、商工会との交流

エ 県西部商工会議所との交流連携

2. 伏木富山港利用促進事業

3. 地域活性化のための支援事業

ア 富山サンダーバズ冠試合の実施



イ 「TOYOTA GAZOO Racing」開催への支援

4. 高岡法科大学寄付講座「高岡学」の開講(令和4年4月～7月・隔年開催)

N 5. 国際交流事業

・ 姉妹都市米国フォートウェン市訪問使節団への参加

6. 提案要望等意見活動

ア 高岡市及び高岡市議会への提案要望

イ 富山県及び富山県議会への提案要望

ウ 日本商工会議所への提案要望

エ 国及び関係省庁への提案要望

オ JR等関係機関への提案要望

7. その他事業活動に必要な事項

P H O T O

L I B R A R Y



令和4年分 決算・確定申告相談会を開催

確定申告書の作成を支援

当所会員の個人事業主を対象とした決算・確定申告の個別無料相談会を高岡商工ビルで開催した。個人事業主が所得税・消費税の確定申告を円滑に行えるよう当所が毎年この時期に行っているもので2日間にわたり、北陸税理士会高岡支部所属の税理士が相談に応じた。今年10月から始まるインボイス制度についても相談があり、税理士が分かりやすく説明を行った。



モニターツアーを開催

富山県西部地域モデルコースを提案し 旅行商品造成につなげる

昨年12月に勝興寺が国宝となり、瑞龍寺と合わせて二つの国宝建築を持つ北陸唯一の都市となったことを契機に、高岡市を観光地としてさらに発信していくため、(株)三越伊勢丹ニッコウトラベルのツアー企画担当者を招聘し、モニターツアーを開催した。2日間にわたり、高岡市内の観光地や体験工房、飲食店、宿泊施設等を巡り、高岡の魅力をPRした。担当者からは、「旅行商品造成の参考にしたい」と感想をいただいた。



富山県西部産業開発協議会・ まちづくり常任委員会合同視察会

福井市の地域交通システムについて学ぶ

当所事務局の富山県西部産業開発協議会とまちづくり常任委員会は全国に先駆けて新交通システムを導入している福井市への合同視察会を開催し、14名が参加した。福井市の地域鉄道についてLRT化や相互乗入に関する説明を受け、実際に福井鉄道に乗り、福井鉄道とえちぜん鉄道の両線が乗り入れる田原町駅で整備された様子を見学した。

武生商工会議所へ移動後、福井鉄道(株)村田治夫社長から整備経緯と効果についてお話いただき、活発な意見交換がされた。



いっぴんセレクション審査会を開催

郷土色あふれる品101点が認定を受ける

高岡らしい優れた商品の周知拡大を目的とした「たかおか いっぴんセレクション」の審査会を商工ビルで行い、観光産業関係者や専門家が食品・菓子・工芸品等の3部門に分けられた商品の審査を行った。

認定された69事業所、101点の商品は、パンフレットを作成し、各観光拠点・宿泊施設・市内企業等に設置する他、同名のホームページに掲載し、県内外に広くPRすることにより販路開拓につなげる。



3. 8

高岡企業見学バスツアーを開催

地元企業の魅力や特徴を学生らに伝える

たかおか企業人材確保推進協議会(当所・高岡市・高岡公共職業安定所)は、学生、求職者を対象に、「高岡企業見学バスツアー」を開催した。ツアーは、SDGsやワークライフバランス、女性活躍等に取り組む各4企業を巡る2コースで、19名が参加し、それぞれの企業の製造現場や施設内を見学した。担当者から企業の業務内容や特徴、どのような人材が求められているのか説明を受けた参加者は、熱心にメモを取っていた。



3. 14

総務・組織運営常任委員会 博物館視察会を開催

高岡市立博物館の移転問題を考える

総務・組織運営常任委員会では松嶋浩二委員長他13名で、委員会のテーマである博物館移転問題の取り組みの一環として博物館の視察を行った。館内を仁ヶ竹亮介学芸員に案内頂いた後、博物館整備構想検討報告書(H22)についての説明を受けた。委員からは博物館を視察し改めて高岡の歴史の奥深さを知ることが出来たという意見があった。また、現在博物館が抱える問題についても深く考えさせられた。



3. 20

税制改正&支援施策説明会開催

令和5年度の税制改正や
支援施策について理解深める

令和5年度の税制改正および中小企業・小規模事業者の為の支援施策についての説明会を開催した。今年10月から始まるインボイス制度に関わる負担軽減措置や地域課題解決に向けた各種補助金制度等について説明し、18社19名の参加者は理解を深めた。説明会は2部構成で行い、1部の税制改正については日本商工会議所産業政策第一部の西田優樹氏が講師を務め、第2部の支援施策については経済産業省中部経済産業局の柳澤一男産業振興室長が説明した。



3. 28 ~ 29

令和5年度 新入社員歓迎式・新入社員研修講座開催

社会人としての「心構え」と「基本」を学ぶ

令和5年度新入社員及び入社2年以内の方を対象に新入社員歓迎式・研修講座を行い、24社42名が参加した。28日の歓迎式では新入社員を代表し、(株)サンテン・コーポレーションの山口愛華さんが「時代の変化に対応しながら日々研鑽し、企業と地域社会の発展に貢献していきたい」と決意を述べた。研修では(株)さくらコミュニケーションズの古川智子氏、上田弥生氏を講師に迎え、コミュニケーションスキルや社会人のビジネスマナー、コンプライアンスなどについて学んだ。

